



ニッカウヰスキー余市蒸溜所

～信念の男がたどりついたウイスキーづくりの理想郷～



理想のウイスキーづくりをもとめた竹鶴政孝は、澄んだ空気と夏でもあまり気温が上がらない気候に加え、余市川の良質な水にも恵まれた余市町をその適地として選んだ。ニッカウヰスキー余市蒸溜所は1936（昭和11）年、ポットスチルに火が点じられてモルトウイスキーの製造が開始されて以来、当時と変わらない製法でウイスキーの蒸溜、貯蔵を行っている。